

製品概要

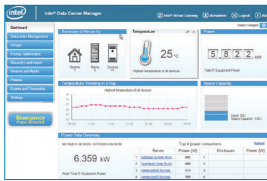
インテル® データセンター・マネージャーの
コンソールと SDK



データセンターにおける IT の俊敏性と管理

リアルタイムの監視と管理で無駄を排除

インテル® DCM コンソール



インテル® データセンター・ マネージャー SDK (Web サービス API)



健全性の監視

モニター

管理

トレンド

スケール

標準規格

IT 機器

ラック

ブレード



PDU と UPS

インテル® データセンター・マネージャー (インテル® DCM) は、データセンターやコロケーションでIT組織が直面している電力および熱に関する問題に対処するための、優れた電力管理機能を提供します。

• 電力・熱消費データの可視化

実トレンドデータと履歴トレンドデータをラックの 2D フロント、オーバーヘッド・マップ、グラフを使いアラートとともに集約

• ポリシーに基づく管理

インテリジェントなヒューリスティック・エンジンによって、最適なパフォーマンスを確保しながら、グループの消費電力制限を維持

• スケーラビリティ

エージェント不要のテクノロジーで数万のノードを管理

• 健全性の監視と活用

きめ細かなサブコンポーネント障害分析とアウトオブバンドのリアルタイムの利用データ (CPU、ディスク、およびメモリー)

データセンターにおける課題

• 古いデータセンターは、電力容量が上限に達している。

• 不十分な熱設計によってホットスポットが生じ、ラックへの搭載が制限されている。

• 電力監視機能を設けるには、別途、IP ベースのインテリジェント・ケーブル・タップのインフラストラクチャーを構築する必要がある。

• 実際の電力消費量を表示できないため、予備率を維持するために大幅な過剰供給が必要になる。

• コロケーションのクライアントは、リアルタイムの環境を SLA と比較するための情報が不足している

• 現行の設計が負荷レベルが低い場合に効率が悪い。つまり、処理を行っていないアイドル状態のサーバーでピーク電力の

50% を消費している。

• サーバー・プールを統合表示することが困難である。

インテル® DCM コンソール

• 導入が簡単

- 最小限のシステム要件で数分以内にインストール
- ネットワークをスキャンしてデバイスを自動的に追加
- システムのラック、列、部屋を簡単に追加

• リアルタイムの電力データを収集

- クロスプラットフォームをサポート
- OS の権限が不要

• 分析ツール

- 冷却効率を確認
- 十分に活用されていないシステムを検出
- マップおよびグラフで電力消費を可視化
- 電力消費の変化およびインフラへの影響をモデリング

• 過去のトレンド

- 履歴データを 1 年間維持
- 電力および熱データを編集して集計
- データをエクスポート可能

• 迅速な解決

- KVM 機能によりサーバーの診断とトラブルシューティングが簡略化

• 警告と制御

- 警告を生成して送信
- 電力消費ポリシーを実装

• ファームウェアの更新

- インテル・サーバー・ボードおよびシステムのファームウェアを更新

機能	利点
監視	<ul style="list-style-type: none"> ラック、列、部屋に集約された実際の電力や吸気温度のデータをリアルタイムに監視 サーバー・コンポーネントの健全性を監視 ユーザー定義の物理または論理グループ 電力・熱のカスタムイベントに基づいて警告を受信 電力監視機能を持たないレガシーサーバー向けの電力予測エンジン HP、IBM、Dell 製品のサーバー資産タグとシリアル番号を表示 インテル® ノード・マネージャー 3.0 による CPU、インテル® Xeon Phi™ およびメモリー・サブシステムの電力監視サポート
トレンド	<ul style="list-style-type: none"> 電力・熱データを記録し、フィルターを使用してトレンドデータを取得 履歴データを 1 年間保存して容量計画に利用
管理	<ul style="list-style-type: none"> リモートコンソール機能による迅速なハードウェアの診断とトラブルシューティング インテリジェントな特許済みグループ・ポリシー・エンジン 複数の階層レベルにおける複数の同時アクティブ電力ポリシーをサポート 消費電力制限などのポリシーのスケジュールを時刻/曜日単位で設定可能 グループ単位の消費電力制限を維持しながら、サーバー負荷の変更に動的に適応 インテル® ノード・マネージャー 3.0 による CPU、インテル® Xeon Phi™ 消費電力制限とコアアイドリングのサポート
エージェント不要 統合と共存が容易	<ul style="list-style-type: none"> 管理対象ノードへのソフトウェア・エージェントのインストール不要 IP 範囲によるデバイス在庫の事前スキャン 高水準の Web Services Description Language (WSDL) API を公開 独立した管理サーバーでの使用、同一サーバー上で ISV 製品との共存のいずれにも対応 電力/熱を意識したスケジュール設定 - 気流・排気口の温度モデリング (OEM 依存) 排気口の温度センサー (OEM 依存)
スケーラビリティ セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 数万台のサーバーを管理 セキュアな API 管理対象ノードとのセキュアな通信 すべての機密データを暗号化

システムの要件

コンポーネント	要件
管理サーバーの オペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft* Windows Server* 2012 x64 Edition Microsoft* Windows Server* 2008 x86 Edition Microsoft* Windows Server* 2008 x64 Edition Microsoft* Windows Server* 2003 R2 x86 Edition Microsoft* Windows Server* 2003 R2 x64 Edition VMWare* ESX 3.5/4.0/4.1 Red Hat* Enterprise Linux* 5 (EL5) Server x86 Edition Red Hat* Enterprise Linux* 5 (EL5) Server x64 Edition Red Hat* Enterprise Linux* 6 Novell* SUSE Linux* Enterprise Server 10 (SLES10) x86 Edition Novell* SUSE Linux* Enterprise Server 10 (SLES10) x64 Edition Novell* SUSE (SLES 11) Ubuntu* Server 12 x64
管理サーバーのランタイム	<p>インテル® DCM サーバーは、以下の最低要件を満たすシステムにインストールすることをお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.6GHz 以上のデュアルコア・プロセッサ 4GB RAM ハードドライブの空き領域 60GB <p>インテル® DCM によって自動的にインストールされる以下のソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> Sun* Microsystems Java* Runtime Environment 8 Apache* Tomcat* アプリケーション・サーバー* 7 JAX-WS Web サービスエンジン PostgreSQL* 9 データベース

詳細情報

インテル® データセンター・マネージャーの詳細については、<http://www.intel.co.jp/dcm> を参照していただくか、dcmsales@intel.com にお問い合わせください



Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および / またはその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標です。

* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です